

医学部 内科学講座(呼吸器感染症学)の臨床教授を拝命して

藤田医科大学 医学部 内科学(呼吸器感染症学)講座 教授
林 正道 (19回生)

8月に入り厳しい暑さが続いておりますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。この度、2024年2月1日付をもちまして藤田医科大学医学部内科学講座(呼吸器感染症学)の臨床教授を拝命いたしました。このような挨拶の機会をくださった藤医会関係者の方々に心より感謝申し上げます。

私は、1990年愛知県立刈谷高等学校を卒業後、藤田保健衛生大学に入学いたしました。1996年卒業後、末次勸先生(平成元年4月1日2代目教授就任)が主宰される呼吸器内科学講座に入局いたしました。研修医終了後は常滑市民病院へ出向しました。その後、大学院を卒業し、2002年榊原博樹先生(平成11年4月1日3代目教授就任)のご指導の下、閉塞型睡眠時無呼吸症候群における末梢血Th1/Th2バランスの研究を行い、医学博士を取得いたしました。2004年東京慈恵医科大学DNA研究所の国内留学を経て、2005年からは米国ハーバード医科大学院に海外留学をし、樹状細胞を用いた癌ワクチンや免疫療法の研究を行いました。2006年帰局後は講師となり、気管支喘息やCOPDや睡眠時無呼吸症候群の臨床研究を行ってきました。2011年9月1日今泉良先生の4代目教授就任に伴い医局長となり、医局の運営や後進の指導にも携わるようになりました。

2020年2月19日新型コロナウイルス感染症無症候病原体保有者128名の受け入れを開院前であった藤田医科大学岡崎医療センターで行い、肺炎疑いなど他医療機関への搬送をへて、最大時106名が滞在した後、院内感染や地域に2次感染を起こすことなく3月9日に無事全員退所しました。私は主に受け入れやPCR検査(289回施行)を担当しました。こ

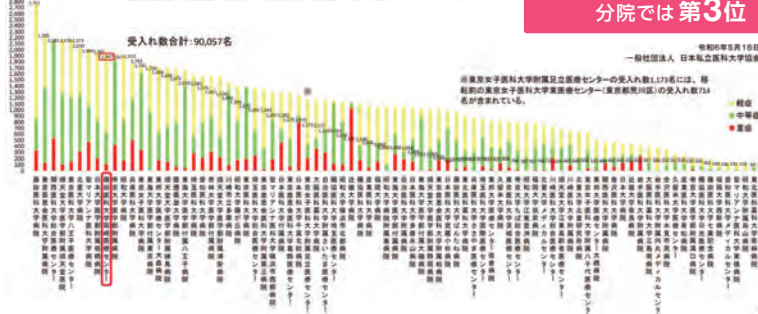
の場をお借りして、お世話になりました関係各所の方々に厚く御礼申し上げます。

このため予定より1週間遅れて、2020年4月7日藤田医科大学岡崎医療センター(第4教育病院、400床)が開院し、私は呼吸器内科責任者・感染対策室室長として赴任いたしました。三河地区初の大学付属病院として、岡崎市や幸田町の医療圏だけではなく、広く高度な医療を提供できるよう努力を続けています。開院後はCOVID-19パンデミックの影響で非常に激務でしたが、無症候性COVID-19の自然経過、医療従事者576名コロナワクチン副作用報告、第2波と第3波合計200名のCOVID-19入院患者の解析などで3本論文として報告をすることができました。また岡崎市保健所と協力し、中和抗体療法を706名に施行し重症化予防に尽力いたしました。2024年1月までの時点で1947名のCOVID-19入院受け入れを積極的に行ってきました。これは日本私立医科大学に加盟する84大学病院及び付属病院の第9位であり、分院だけでみると第3位にあたります。もちろん第1位は藤田医科大学病院であります。

今後の抱負としては、災害など有事の際には、診療だけではなく、『Fujita VISION 2030』に掲げられている『その時、いちばん動ける藤田学園へ』を現在6名と少数精鋭の医局員ですが実践していきたいと考えています。

COVID-19パンデミックの様々な経験から、藤医会の皆様方のご支援は欠かせないものと実感しております。今後とも何卒変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

加盟大学附属病院84病院(本院30病院・分院54病院)における新型コロナウイルス感染症患者症例別受け入れ総数
(調査対象期間:令和2年3月~令和6年1月)



ダイヤモンド・プリンセス号SARS-CoV-2 無症候病原体保有者128名受け入れから4年経過。開院5年目を迎えました。